

わったー まちの話題

5月8日 ピカピカの1年生へカエルお守りプレゼント

西原町内の4児童館で活動するファミリークラブ会員と児童館職員が町立4小学校の新1年生児童のために手作りお守りをプレゼントしました。お守りはこどもたちの健全育成と交通安全を祈願したもので、こどもたちが「無事におうちへカエル」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。今年は4児童館合わせて322名の新1年生にお守りを贈呈しました。



▲ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、児童館を拠点として、こどもたちの健全育成を目指して活動しています。

5月12日 小波津川等水害対応行動訓練

西原町役場職員を対象に線状降水帯の接近により、小波津川の氾濫、その他町内各地で内水氾濫（大雨の際、雨水の排水が追いつかず、水があふれる現象）の危険が高まったという想定で、小波津川等水害対応行動訓練が実施されました。訓練では、小波津川の水位が2.60m（氾濫危険水位）に到達後、河川の被害想定場所に職員が到着するまでの時間や避難所開設準備にかかる時間、災害関連の電話受付などの再確認を行いました。町民の皆さんもいつどこで起きるか分からない水害から命を守るため、避難方法や災害時の心得を再確認しましょう。



▲小波津川の水位を確認している様子



▲水害場所を確認している様子



▲水害場所をマップに印している様子



▲避難所設置準備の様子

防災情報については下記をご参考ください



西原町
地域防災計画



西原町防災マップ



西原町避難行動
要支援者登録



内閣府防災
情報のページ

5月21日 長年ご尽力された功労者へ

警察官として長年にわたり危険な業務に尽力し、社会に貢献した功労者として、4月に「瑞宝単光章」を受章された西原強さんが報告のため町役場に訪れました。西原さんは、「危険な業務も多くあったが、仲間や上司に恵まれて仕事ができたと感謝したい。今後は保護司として、犯罪や非行をした方々の立ち直りを支援していきたい」と意気込みを語りました。



5月23日 西原町のスペシャリストが中学生へ特別授業

西原中学校1年生の総合学習の時間に、講師として西原町の働くスペシャリスト6名を招き特別授業が行われました。今回は、みやざわ動物病院、パティスリークブル、さわふじガーデン、沖縄森永乳業株式会社、池田食品有限会社、印象とコミュニケーションの専門家の方々が自身の体験談を交えながら仕事のやりがいなどを伝えていました。生徒たちは、熱心に話を聞きながらメモを取ったり、スペシャリストに対して積極的に質問をしたりと楽しく有意義な時間を過ごしていました。みやざわ動物病院の宮澤信院長は「もっと獣医に興味を持ってもらえたら嬉しい。ペットを飼うときは責任を持って面倒を見てほしい」とメッセージを贈りました。



みやざわ動物病院
みやざわまこと
宮澤 信さん



パティスリークブル
たまはな かつ
玉郎 覇 勝さん



さわふじガーデン
ひが ひろと
比嘉 博仁さん



沖縄森永乳業株式会社



池田食品 有限会社
みづかみ ひろし
瑞慶寛 宏至さん



印象とコミュニケーションの
専門家
あらかき 咲美さん

5月26日 西原小学校の児童へ紙芝居贈呈

大庭真由美元西原小学校校長（現うま市与那城小学校校長）から、令和4年に西原小学校児童のために書き下ろした紙芝居「さとうぎの祈り」の贈呈がありました。この紙芝居は、大庭校長が当時、平和への願いを込め先生方で朗読劇を行った際に戦争の悲惨さがこども達の心の中に残り、平和教育につながることを願って制作したものです。大庭校長は「今後も西原町のこども達の平和教育のため、紙芝居を授業等で活用してほしい」と話しました。



▼紙芝居の表紙

5月26日 町長講話及び議会見学

西原南小学校6年生が社会科教育の一環として、町長講話を受け、議場の見学をしました。町長講話では、西原町の名前の由来や歴史、まちづくり、町長へ立候補した理由などについて話し、児童たちは熱心にメモをとりながら話を聞いていました。その後、児童からは「町長になったときの思いを教えてください」や「イラストとデッサンを学べる施設はありますか」といった質問が寄せられ、崎原町長はそれに答えながら児童たちと交流しました。また、議場見学では、実際に議長席、議員席、傍聴席などへ座り、議会のしくみや役割についての話を聞いたり、元氣よく手をあげ「こども達も議会の様子を見ることはできますか」や「議長がもし休んだらどうするんですか」と質問したりと楽しく議会について理解を深めていました。



6月2日 救急搬送支援システム「実証事業」開始

東部消防組合消防本部構内にて、沖縄南部圏域4消防本部（糸満市・東部消防組合・島尻消防組合・豊見城市）合同救急DXプラットフォーム実証開始説明会がありました。本事業は、統一仕様の救急搬送支援システムを運用することで、救急隊と医療機関の情報連携を強化し、搬送時間の短縮、業務負担の軽減、地域全体の救急対応力の向上を図ることを目的としています。沖縄南部圏域4消防本部では、令和7年6月10日（火）より参画医療機関及び協力事業者（TXP Medical株式会社）と連携し、救急医療情報システム「NSER mobile」の実証事業を開始しています。

救急現場

病院連絡

データ送信

運用する全消防本部からの患者情報が表示される。

従来の電話に加え、病院側では、可視化された患者情報を閲覧しながら受入判断ができる。現場の写真も送信可能であり、より正確な情報を伝達できる。

実証期間

令和7年6月10日（火）午前9時～7月25日（金）午前0時
※本実証事業にて有効性を検証し、4消防本部統一仕様で本格導入を検討します。

【消防本部、救急隊からご協力のお願い】

免許証・保険証・マイナンバーカード・モニターお薬手帳・外傷部分・事故現場などをタブレットにて撮影します。
個人情報、医療情報の安全管理に関する関連ガイドラインに準拠して適切に管理します。ご理解のほどお願いします。
※本サービスは、国際的に認められた高水準の情報セキュリティ管理体制のもとで運用されていることが第三者機関により認証されています。

6月3日 透き通る 誇れる水に 感謝する ～令和7年度水道週間スローガン～

6月1日から7日の全国水道週間にあわせて、西原町と西原町管工事協同組合による第67回「水道週間」節水パレードが行われました。このパレードは水道に対する理解と関心を高めることを目的に行われています。看板やのぼり旗が飾られた町管工事協同組合の車両10台が、水資源の大切さを呼びかけながら町内を巡回しました。町管工事協同組合の大城隆理事長は「節水パレードを毎年実施し、町民に対し限りある水資源の大切さをアピールしたい」とあいさつしました。

